

## 国際交流員ザブリーナ・リンのコラム

### 職人達の伝統…ヴァルツ



#### マイスターになるために通る道

みなさんはヴァルツという言葉聞いたことがありますか？ドイツ伝統のヴァルツとは、中世から続いている習慣で、昔はマイスターになるために必ず通らなくてはならない道でした。

ヴァルツの説明をする前に、簡単にドイツのマイスター制度について説明します。マイスター制度は、徒弟・職人・マイスター（親方）の3段階になっています。徒弟として数年見習い修行をし、職人試験を受けて無事合格すれば職人となります。それから更にマイスターになるためには二通りの道があります。職業学校や工房で3年間働きながら技術を習得するか、3年と1日放浪修行をするか。どちらを選択したとしても、その後、マイスター試験を受けて、晴れて合格すればマイスターの資格を得ることが出来ます。

現在は、マイスターの受験資格を得るために放浪修行に出る人は少なくなっているようです。3年くらい前の統計では、約400人がヴァルツの道を選びました。ヴァルツには厳しいルールが定め

られていて、一度修行を始めれば3年と1日のその期間中は故郷に帰ることができません。また、故郷から50kmの範囲に近寄ってもいけません。このようなルールを守らなければ不名誉除隊という処分を受けます。他のルールは移動のためにお金を使うことは禁止であること。そのため、移動は徒歩やヒッチハイクです。また、旅先の各地では仕事を見つけない限りはなりません。仕事を見つけれなければお金もないので、野宿しなければならぬこともあります。

#### ひと目で分かるヴァルツの職人

また、ヴァルツに出る人は、職業に関係した伝統的な服装をしていきます。コールテン素材の黒づくめ、帽子、ネクタイ、ベスト、裾の広がったラップズボンを身に付け、ツル科の植物で作った杖を持って歩きます。荷物は着替え一式と最低限度の生活必需品に仕事道具だけです。その荷物は伝統の風呂敷につつまであります。

このように特徴的な服装をしているため、どこに行ってもヴァルツの職人だとすぐに分か

ります。多くの人はドイツ国内や他のヨーロッパ各地を巡って技術の習得を目指しますが、中にはアフリカなどにまで行った人もいます。

ヴァルツの道は大変だと思えますが、放浪修行を選んだ人は、様々な技術を身に付けられるだけでなく、様々な人や文化と触れ合いながら、自分自身も磨くことができると思います。特にグローバリゼーションが進んだネット社会で、他人とのつながりが希薄だと言われる今日では、非常に貴重な経験になることでしょう。

【お知らせ】  
新しいドイツ語講座がスタートします！  
39ページをご覧ください。



Jan Wittkowski  
ヴァルツから帰ってきた人は、故郷の地名標に登る習慣があります。

### 国際交流員コンパニオン「第24回」

#### ドイツの定番料理— シュニッツェル作り

今回の料理教室では、ドイツの定番料理を紹介します。シュニッツェルという名前です。

家庭でもよく作りますし、レストランでも定番のメニューです。レストランでは「ウイリーナシュニッツェル」という名前になっています。多くのドイツ人の好物で、ドイツ料理に欠かせない一品です。

ジャガイモやサラダ、またはフィラデルフィアクリームというデザートと一緒に食べたいですね。

参加者にはびっくりン箱のエプロンもプレゼントしますよ！

■日時 5月25日(日)  
午前10時～午後1時30分

■場所 きらら館 調理室

■参加費 国際交流協会会員 600円  
一般 800円

※小学生以下はそれぞれ半額ですが、保護者同伴でお願いします。

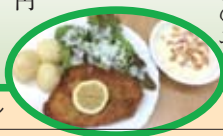
■持ち物 持ち帰り用のタッパー

■申込期間 5月12日(月)～22日(木)

■定員 20名

■申し込み・問い合わせ先 下野市国際交流協会事務局  
(市役所生活安全課内)

☎(40)55555  
✉sia.shimotsuke@gmail.com



シュニッツェル

携帯電話  
市ホームページ

■人口と世帯(4月1日現在)  
人口/60,039人(-239)、男性/29,899人(-147)、女性/30,140人(-92)、世帯数/22,296世帯(-87)



PC・スマホ  
市ホームページ



**TAKE FREE**

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎ 0285 (40) 5550 情報広報グループまでご連絡ください。